

各会計別の決算（歳出）

会計	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率	
一般会計	129億5,485万円	129億9,200万円	△3,715万円	△0.3%	
特別会計	国民健康保険	52億1,276万円	49億150万円	3億1,126万円	6.4%
	後期高齢者医療事業	2億2,492万円	2億1,724万円	768万円	3.5%
	下水道事業	8億8,208万円	7億1,329万円	1億6,879万円	23.7%
	土地区画整理事業	13億1,519万円	13億3,915万円	△2,396万円	△1.8%
	農業集落排水事業	2,052万円	3,579万円	△1,526万円	△42.6%
全会計合計	206億1,032万円	201億9,897万円	4億1,136万円	2.0%	

下水道事業

津嘉山北土地区画整理区内の整備を重点的に行いました。集合住宅が多いため、時間を要しています。

後期高齢者医療

保険料徴収率99.7%です。
(滞納繰越分含む)
※75歳からの医療保険

国民健康保険

7年連続の赤字決算です。平成26年度は7億6,234万円の赤字となりました。

土地区画整理

事業進捗率は総事業ベースで68%です。津嘉山ハイツ周辺を重点的に整備を行っています。

ひとこと特別会計

平成26年度決算の特徴



農業集落排水

太陽光パネルの設置効果は設置前と比較すると削減。電気使用量：26.1%削減
電気料金：15.7%削減

監査委員の指摘

代表監査委員 稲福 清
議会選出監査委員 上原喜代子

審査期間

7月6日～
8月14日

意見書提出

8月24日

昨年度の赤字決算から、黒字決算で翌年度に引き継いだ。財政収支の均衡保持等に配慮した結果である。しかし、依存財源の比率が高く、厳しい財政運営となっている。



監査委員が町長に意見を提出

【具体的な指摘】

- 職員は自己研鑽に努め、組織としてミスを防ぐ体制づくりに努めること
- 一括交付金は、制度の趣旨・目的を踏まえ、効果的な事業として完了すること
- 国民健康保険特別会計は、保険給付費の抑制に努め、引き続き前期高齢者交付金制度の是正を国に強く要望すること
- 指名競争入札は、設計書金額と予定価格を同一とする社会情勢から、根拠規定を精査し例規等を整備すること